
今日の日

2025年8月25日 ～ 8月31日

翻訳 松浦 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

8月25日(月)

神様の真実

聖書朗読 ローマ人への手紙 3：1～8

私たちに降りかかって来たすべての事において、あなたは正しかったのです。あなたは誠実をもって行われたのに、私たちは悪を行ったのです。 ネヘミヤ 9：33

あなたは今までに約束を守られなかったり、何かを撤回されたり、誓いを破られたりしたことはありますか。人生、そんなことばかりですよ。

この世界は守られない約束と満たされない信仰であふれています。国家は条約を守らず、プロのアスリートは契約を破棄します。政治家は公約を守らず、夫婦は“死が二人を分かちまで、お互いに誠実であり続けます”という誓約を放棄します。不誠実さは人間性を表すときによく使われますが、しかし神様は違います。

神様の言葉は真実です。神様が約束されたことは必ず守られます。神様が誓われるとしたら、神様は聖書に手を置いて誓うのではなく、その手はご自身に置かれるのです。『神は、アブラハムに約束される時、ご自身よりすぐれたものをさして誓うことがありえないため、ご自分をさして誓い』（ヘブル 6：13）と書かれているようにです。神様の言葉は約束なのです。

人間が約束を守れなかったとしても、神様の真実は変わりません。人間は相変わらず不真実ですが、神様はいつも真実なお方です。

私たちが最良の時であっても、神様と私たちとの差は歴然です。それでも、神様は私たちを選び、私たちが救われることを望んでおられるのです。神様は、罪の無いひとり子イエス様の血によって、私たちのような罪でいっぱいの子息、娘たちを清めてくださいます。なぜでしょうか。それは神様の真実によるものです。私のでも、あなたのでもなく、神様の真実によるのです。

讃美歌 267 神はわがやぐら

祈り 父なる神様。あなたの真実によって、私たちが今日、真実なる歩み続けることができますように。イエス様の御名を通して。アーメン。

テキサス州 アマリロ / ベン・メレネス

8月26日(火)

清算済み

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:28~39

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:16

ある日、私と夫はのんびりとした土曜日の朝ご飯をレストランに食べに行きました。夫が支払いのために伝票を頼んだ時、店員さんは誰かがすでに私たちの会計を済ませていると言いました。私たちは店内を見渡しましたが、そこに知っている人はいませんでした。誰が見返りも求めず、こんなに親切なことをするのでしょうか。

この話を聞いて、あなたは誰かのことを思い出しませんか。私たちの神様は、私たちに何の借りもありませんでした。私たちは神様の恵みを受けるに値する存在ではありませんでした。しかし、神様は私たちに全て、つまり命を与えられました。なぜ、神様はそんなことをされたのでしょうか。

ヨハネは、それは、神様が私たちを愛されているからだと言っています。神様の愛は途方もなく、私たちが受けるに値しない、絶え間ないものです。ご自分の御子、イエス様をさえ惜しまずに死に渡されたお方は、私たちを一瞬一瞬どれほど気にかけてくださっているのでしょうか。『人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。』(ヨハネ 15:13) この愛によって、神様は、私たちにも同じように、自分を捨てて他者を愛しなさいと言われていたのです。

聖歌 392 神はひとり子を

祈り 主よ。あなたの愛を受けるにふさわしくない私のために全てを与えてくださり、ありがとうございます。私があるあなたの愛に 응답し、恵みと優しさを持って周りの人に愛を分け与えることができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ニューメキシコ州 ポータリス / ゲイネル・トーマス

8月27日(水)

感情と希望

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:35~39

心に不安のある人は沈み、親切なことばは人を喜ばす。 箴言 12:25

私たちの感情や思いは日々変化します。痛みを伴う感情の中で最悪なのは、おそらく絶望、つまり希望を失うことでしょう。このような暗い気持ちのとき、神様の存在が遠く感じられます。しかし、ヨセフの話は私たちに神様にある希望は消えることが無いことを思い出させます。

ヨセフは裏切られ、虚偽の告発を受け、監獄に入れられました。しかし、彼は神様に希望を失うことはありませんでした。ヨセフが経験した絶望は想像を絶しますが、ヨセフは神様の計画を信じ、その信仰は彼の苦しみを上回ったのです。

受け止められないほどの辛い感情で押しつぶされそうなときでも、神様の愛は変わることがありません。(マラキ 3:6) 苦しみが続くとき、私たちは神様の力によって耐え、乗り越えることができます。『主は私の助け手です。私は恐れません。人間が、私に対してなにができません。』(ヘブル 13:6b)

ヨセフのように私たちも、先行きが見えないときにも神様を信じて、全ての望みを神様に置くように招かれているのです。

讃美歌 270 信仰こそ旅路を

祈り 天の父なる神様。あなたの変わらない愛に感謝します。気持ちが沈むとき、あなたが私の岩であり避け所であることを思い出させてください。あなたの変わらない誠実さを信じ、日々に立ち向かう勇気をお与えください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



コロラド州 プエブロ / ロン・グロース

8月28日(木)

あがり症というモンスター

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:37~39

神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。
テモテⅡ 1:7

その日は私がスピーチをする日でした。しかし、私はただ大勢の人の前で恥をかきにきたような気持ちでした。心臓がドキドキして、手は汗でびしょりで、頑張っただけで覚えた原稿はどこかに飛んでしまいました。もし恐れが人だったら、私に「お前はもう終わりだ!」と大声で言っていたでしょう。

私は、舞台の袖からこっそりと観客の様子を覗き見ました。友達、先生方、いつも授業中にお菓子をこっそり持って来る生徒、全ての人々が私が成功する時、もしくは大惨事を起こす時を待ちわびていました。私は一番近くの出口から逃げ出す寸前でした。ありがたいことに、私は気を失うことも、滅茶苦茶なことを言うこともなく済みました。恐れは最終決定を下すことはありませんでした。

あなたの人生にとっての“モンスター”は何ですか。恐れにとらわれたことはありませんか。恐れているとき、私たちは神様を呼び求めることができます。神様に恐れを打ち明けた時、心に平安が広がるのを経験したことはありませんか。神様の御霊が私たちの内にいるとき、私たちは強められ、大小関わらず、恐れに支配されることはないのです。どんなものも、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできないという、神様のお約束によって慰めを得ましょう。

聖歌 657 雄雄しくあれ

祈り 主よ、私たちに勇気という霊を与えてくださりありがとうございます。神様による力と愛によって、私たちが恐れに立ち向かえるよう助けてください。あなたが私たちと共に日々歩んでくださることを覚えます。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

コロラド州 デンバー / アナ・ポーター

8月29日(金)

競い合って互いに愛し合いなさい

聖書朗読 ローマ人への手紙 12:10

兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。
ローマ 12:10

兄弟姉妹間のけんかは大変です。兄弟姉妹がいる方は共感できると思います。「ぼくが助手席に乗るんだ!」「そこは私の席!」「ママ!お兄ちゃんが最後のクッキー食べた!」小さい時、私は兄弟姉妹と常につまらないことで競い合っていました。今思うと、もし私たちが自分の権利を主張するのではなく、競い合って互いに愛し合おうとしていたら、どれだけの時間と涙を節約することができたでしょう。

パウロはローマ12章で私たちに異なった生き方をするように勧めています。互いに愛し合い、どちらがより相手を尊敬し、相手に親切になれるか競い合いなさいと言っています。一番良い所に車を駐めるために争うのではなく、譲り合えるようになったらどうでしょう。どちらが相手を言い負かすかではなく、どちらが忍耐強くいられるかで競い合ったらどうでしょうか。

ほかの人に好き勝手にさせるということではありません。自分のプライドよりも他の人への愛を優先するということなのです。もし今度あなたが誰かに負けたくないと思ったら、愛で勝とうとしてみてください。みんなが勝利者になるゲームだとわかるでしょう。

讃美歌 389 敵を愛せよとの

祈り 主よ、他の人を見返りを求めず愛することができるように助けてください。周りの人を自分よりもすぐれたものとして尊敬し、私の行動を通して神様の愛を示すことができるようにお導きください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。



イリノイ州 シカゴ / キャロライン・ライト

8月30日（土）

源を思い出す

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 4：7

いったいだれが、あなたをすぐれた者と認めるのですか。あなたには、何か、もらったものでないものがあるのですか。もしもらったのなら、なぜ、もらっていないかのよう
に誇るのですか。 コリント I 4：7

学生時代、初めてバイトのお給料を手にしたとき、とって誇らしい気持ちになったことを覚えています。学費や生活費のために長い時間働いたので、自分の頑張りで手に入れた気持ちになりました。しかし、しばらくして私は、何かを成し遂げたとき、それが全て自分の努力や才能や気力によるものだと簡単に思ってしまったことに気づきました。

パウロはコリント第一でこのような考えに注意するよう語っています。彼は単純で鋭い質問をしています。『あなたには、何か、もらったものでないものがあるのですか。』これらの質問にはとても考えさせられるものがあります。私たちが何か仕事を成し遂げたり目標を達成したりするために必要な能力も全て神様から与えられた賜物なのです。私たちが成し遂げる事全ての源は神様の恵みによるものなのです。

この視点に立つとき、私たちは努力をやめるのではなく、全てのことに感謝し、へりくだる気持ちを与えられるのです。神様こそが私たちの能力、機会、資源の源なのです。あなたが勉強、仕事、または将来の目標に向かって努力する時、誰によってそれを成すことができるのか考えてみてください。全てを与えられる神様に感謝する時、私たちは神様のご計画を覚え、全てのことを神様の栄光のためにすることができるのです。

讃美歌第二編 191 主のまことはくしきかな

祈り 主よ、全てを与えてくださりありがとうございます。神様の前にへりくだり、あなたに与えられたもの全てを用いて、あなたに栄光を帰すことができますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

フロリダ州 デスティン / セーラ・クラーク

8月31日（日）

神とともに

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 7：17～24

兄弟たち。おのおの召されたときのままの状態、神の御前にいなさい。

コリント I 7：24

聖書の中には、なかなか難しく、辞書で調べても意味がよくわからない言葉がたくさんあります。しかし、よく使われる言葉こそが大切な意味をもっていることがよくあります。神様が語られる些細な言葉にこそ試されることがあります。例えば、“いけません”とか“行きなさい”とか“あなたは”とかいう言葉です。

今日は「with（ともに、よって）」という単語を見ていきましょう。毎日、よく使われるし、自分でも何十回も言います。でも今日の朗読箇所では、この語は恵みに富んでいるように思えます。聖書を読んでいて、この単語が含まれる短い文章に深く考えさせられました。『神の御前にいなさい。』です。

この言葉は聖書の中で繰り返し現れます。エノクやノアは神とともに歩みました。モーセは神と語り合いました。ヤコブは神と格闘しました。ヨブは神と論じ合いました。神様はヨナタンとともにおられました。ダビデは詩篇60：12で『神によって、私たちは力ある働きをします。』と賛美しています。イエス様はさらに進めて『人にはできないことが、神にはできるのです。』（ルカ 18：27）と言われました。

ジョン・フラヴェル（編注：英国のピューリタン長老派教会の牧師兼作家。1627-1691）は、「回心における最大の難しさは心を神に導くことであり、回心後の最大の難しさは心を神に留めることである。」としています。

迷う心を神様に留めることは簡単なことではありません。しかし、今日、私はこの「ともに」という言葉に心を動かされました。神とともにあることこそが福音全てではないかと思うのです。私たちが神様とともにあり続けることこそが、神様が私たちに望まれていることではないでしょうか。そして、それはイエス様を通して可能とされているのです。

教会福音讃美歌 359 私の望みは主イエスだけにある

祈り 主よ、私の心があなたとともにあり続けられますように。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 シャロウォーター / デイビッド・パウンズ